

特定非営利活動法人日本火山学会 2023 年度秋季大会プログラム

期 間：2023 年 10 月 18 日（水）～ 10 月 20 日（金） 3 日間（学術講演会）

会 場：かごしま県民交流センター

後 援：鹿児島県・鹿児島市

【会場】

かごしま県民交流センター

〒 892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町 14-50

<https://www.kagoshima-pac.jp/>

【口頭発表スケジュール】

		A 会場 (大ホール)	B 会場 (中ホール)
10 月 18 日 (水)	午後 (12:00～13:57)	桜島・始良カルデラ (1)	火山化学
	午後 (14:20～16:30)	桜島・始良カルデラ (2)	地下構造・マグマ供給系
10 月 19 日 (木)	午前 (8:30～10:53)	噴火のダイナミクス	火山の監視と活動評価
	午後 (14:00～15:00)	臨時総会 (A 会場)	
	午後 (15:00～17:00)	受賞記念講演 (A 会場)	
10 月 20 日 (金)	午前 (8:30～10:27)	火山の地質学	火山の地震
	午前 (10:50～12:34)	火山の岩石学	地殻変動
	午後 (14:00～15:57)	噴出物の堆積と運搬	火山防災

※一人あたりの講演時間は 13 分ですが、2 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※発表形式は現地発表もしくはオンライン発表になります。

【ポスター発表スケジュール】

・会場：ギャラリー 1・2

・発表形式は現地発表のみになります。

・ポスター掲示期間：10 月 18 日（水）12 時～ 20 日（金）12 時

・コアタイム：10 月 18 日（水）16:40-18:10（奇数番号）

10 月 19 日（木）11:00-12:30（偶数番号）

【交流会】

開催日時：10 月 19 日（木）受付開始：17 時 30 分 開宴：18 時～ 20 時

会 場：山形屋 1 号館 7 階 「ふるさとレストラン 山形屋食堂」

<https://www.yamakataya.co.jp/kagoshima/restaurant>

会 費：社会人（シニア満 70 歳以上含む）：5,500 円

大学院生・学部生・無給研究員：3,000 円

【そのほかの行事・会合予定】

・10月21日（土）13：00～16：00

開催場所：桜島フェリーターミナルコミュニティスペース、桜島溶岩なぎさ公園
公開講座「親子で火山実験 桜島のいろんな噴火を見てみよう！」

・10月29日（日）13時開場、14時開始、17時終了、18時閉場

会場：かごしま県民交流センター県民ホール

一般講演会「桜島の大規模噴火を考えるー過去・現在と将来・生活への影響ー」

【現地討論会】

・「桜島火山」

開催日時：10月21日（土）8時30分集合、17時解散

案内者：小林哲夫（京都大学）他

参加費：5,000円（バス、フェリー、保険込み・昼食代別）

見学予定：有村展望台、採石場、地獄河原、湯之平展望台、西側大正火口周辺

【ジオツアー】

・桜島・錦江湾ジオガイド主催ツアー「火山学会2023 桜島ジオトレッキング」

開催日時：10月21日（土）10時30分集合

集合場所と行き先：湯之平展望所からハルタ山へトレッキング

※桜島ジオサルク（<http://s-geo369.main.jp/>）主催のガイドつきツアーです。

10月18日(水) 午後

A 会場

桜島・始良カルデラ (1)
座長：石峯康浩・嶋野岳人

- 12:00-12:13
A1-01 基本的な火山活動推移から考える桜島噴火活動
※井口正人
- 12:13-12:26
A1-02 鹿児島市の桜島火山防災対策 火山防災トップシ
ティを目指して ※鹿児島市
- 12:26-12:39
A1-03 二重偏波気象レーダーによる火山噴煙の観測と応
用について ※佐藤英一
- 12:39-12:52
A1-04 桜島火山噴煙のレーダマルチセンシング
※真木雅之・西 隆昭・中道治久
井口正人・中村啓彦・佐藤英一・小堀壮彦
メンバー (桜島噴煙モニタリングプラットフォーム
研究会)
- 12:52-13:05
A1-05 桜島火山における火山灰連続採取データの展開
※嶋野岳人・井口正人・安田 敦
- 13:05-13:18
A1-06 桜島火山 2022 年 7 月噴火に関する気象庁の画像
解析の検証
※石峯康浩・久保智弘・山田大志・井口正人
- 13:18-13:31
A1-07 ディスドロメータ観測に基づく火山灰噴出量推定
※瀧下恒星・小園誠史・三輪学央・井口正人
- 13:31-13:44
A1-08 桜島火山灰を構成する斜長石の構造状態の研究に
関する今後の課題 ※松井智彰
- 13:44-13:57
A1-09 桜島火山ブルカノ式噴火の減圧による斜長石成長
速度とナノライト核生成率 Rates of Plagioclase
Growth and Nanolite Nucleation Triggered by Decom-
pression of Vulcanian Explosion at Sakurajima Volcano
※◎ Aulia Syafitri・新谷直己・無盡真弓
中村美千彦・味喜大介・井口正人

13:57-14:20 休憩

桜島・始良カルデラ (2)
座長：小園誠史・中村仁美

- 14:20-14:33
A1-10 桜島火山 1914 年噴火の西側割れ目火口東端の位
置と現状 ※小林哲夫・山下祐志・蓑田優汰
鈴木雄介・原口 強

B 会場

火山化学
座長：川口允孝・萬年一剛

- 12:00-12:13
B1-01 草津白根山における火山ガス組成の時間変化
※大場 武・谷口無我・沼波 望
豊島誠也・安田裕紀・寺田暁彦
- 12:13-12:26
B1-02 FTIR 観測による阿蘇の火山ガス組成の推定
※風早竜之介・森 俊哉
横尾亮彦・篠原宏志
- 12:26-12:39
B1-03 箱根火山大涌谷の噴気温度と熱水系
※萬年一剛
- 12:39-12:52
B1-04 箱根火山ガス C/S 比の定点自動観測
※大庭憲二・森田博義・山本泰道・大場 武
- 12:52-13:05
B1-05 地上観測と衛星観測による十勝岳の二酸化硫黄放
出率の推定
※◎山口健介・田中 良・森田雅明
森 俊哉・風早竜之介
- 13:05-13:18
B1-06 火山噴出物中の塩素濃度を調査する方法
※夏 雷莎・野上健治・北村 凱
- 13:18-13:31
B1-07 霧島火山岩類の Sr-Nd 同位体組成 (速報)
※川口允孝・前野 深・安田 敦
田島靖久・佐野貴司・米田成一
- 13:31-13:44
B1-08 西南日本弧由布岳安山岩を生成した端成分マグマ
岡田郁生・※柴田知之・芳川雅子
石橋秀巳・杉本 健・早坂康隆
- 13:44-13:57
B1-09 九州南部における地下水の組成統計解析と流体循
環
※岩森 光・中村仁美・森川徳敏・高橋正明
高橋 浩・坂田周平・原口 悟

13:57-14:20 休憩

地下構造・マグマ供給系
座長：羽生 毅・寺田暁彦

- 14:20-14:33
B1-10 十勝岳における磁場変化と地熱異常域の拡大
※橋本武志・青山健太郎・井 智史
塚川絢斗・山崎裕二

- 14:33-14:46
A1-11 始良カルデラ火山における珪長質マグマ形成過程の時間変化
※西原 歩・金子克哉・常 青・木村純一
下司信夫・宮崎 隆・Bogdan Vaglarov
- 14:46-14:59
A1-12 始良カルデラにおける地下水の希土類元素組成
※中村仁美・森川徳敏・岩森 光・坂田周平
- 14:59-15:12
A1-13 桜島火山 2006 年以降の噴出物の物質科学的解析からみる玄武岩質マグマの貫入と活動度の関連
※松本亜希子・中川光弘・井口正人
- 15:12-15:25
A1-14 桜島火山におけるマグマ上昇のガス収支と噴火様式
※◎新谷竹望・坂内野乃・安川宙葵
Loïc MAINGAULT・新谷直己・無盡真弓
中村美千彦・味喜大介・井口正人
小林哲夫・安田 敦
- 15:25-15:38
A1-15 桜島ブルカノ式噴火前における火道内増圧過程—火道流モデルによる制約—
※小園誠史・西村太志・松本亜希子
中川光弘・井口正人・三輪学央
- 15:38-15:51
A1-16 桜島火山における有限球モデルを用いた圧力源の推定
※上土井歩佳・松島 健・山本圭吾
- 15:51-16:04
A1-17 始良カルデラにおける海底地盤変動観測装置
※筒井智樹・味喜大介・井口正人
- 16:04-16:17
A1-18 1914 年桜島火山噴火以降の始良カルデラ下における地殻応力の変遷：測地・地物データで制約された粘弾性地殻変動モデルからの推定
※山崎 雅・長谷川 健・Siqi Li
Freysteinn Sigmundsson
- 16:17-16:30
A1-19 地震波速度解析から得られた始良カルデラ下の S 波低速領域とメルト量推定
※為栗 健・筒井智樹・井口正人

- 14:33-14:46
B1-11 数値シミュレーションによる箱根火山熱水系の考察
※松島喜雄・萬年一剛
- 14:46-14:59
B1-12 草津白根火山のマグマ・熱水供給系
※寺田暁彦・神田 径・小川康雄・山田大志
山本 希・青山 裕・大倉敬宏・大場 武
谷口無我・角野浩史・小長谷智也
- 14:59-15:12
B1-13 AMT/ 広帯域 MT 法探査による有珠山の 3 次元比抵抗構造解析
※井上智裕・橋本武志・鈴木敦生
- 15:12-15:25
B1-14 志賀火山および高山村周辺の比抵抗構造
※◎石吾樹生・神田 径
松永康生・吉田友宣晴
- 15:25-15:38
B1-15 新燃岳で 2018 年に発生したブルカノ式噴火における火山灰放出源の深度の推定と噴火発生場の考察
※及川 純・田島靖久
- 15:38-15:51
B1-16 鬼界カルデラの海底カルデラ壁における掘削
※羽生 毅・宮崎 隆・Maria Luisa Tejada
島 伸和・金子克哉・中岡礼奈・清杉孝司
鈴木桂子・清水 賢・西来邦章・佐藤勇輝
- 15:51-16:04
B1-17 鳥海山猿穴溶岩における噴火推移とマグマ供給系の進化
※◎菊池瑛美・大場 司
- 16:04-16:17
B1-18 伊豆大島 1986 年 B 噴火マグマの状態の時系列変化
※◎宮下明典・石橋秀巳
安田 敦・外西奈津美
- 16:17-16:30
B1-19 伊豆大島 1986 年 B 噴火のマグマ供給系：深成岩捕獲岩からの制約
※◎吉田那緒・石橋秀巳・千葉達朗
外西奈津美・安田 敦・針金由美子

10 月 19 日 (木) 午前

A 会場

噴火のダイナミクス

座長：南 裕介・西脇瑞紀

8:30-8:43

- A2-01 マグマだまり過飽和の記録としての Pheno-bubble は存在するか？
※寅丸敦志・Chris Huber
Indranova Suhendro

B 会場

火山の監視と活動評価

座長：高木朗充・上田英樹

8:30-8:43

- B2-01 衛星から見積もられた火山周辺の二酸化硫黄分布 (2018 ~ 2023 年)
※高木朗充

- 8:43-8:56
A2-02 マグマの減圧発泡においてスピノーダル分解は起こりうるか？ ※西脇瑞紀
- 8:56-9:09
A2-03 流紋岩質メルトの反発係数 ※三輪学央・黒川愛香・佐野恭平
奥村 聡・上杉健太郎
- 9:09-9:22
A2-04 機械学習によるマグマの粘性率の定式化：SiO₂-Al₂O₃-MgO-CaO-Na₂O 系 ※菅原 透・黄 曉鑫
- 9:22-9:35
A2-05 安山岩軽石の石基の結晶化過程：低圧加熱実験からの制約 ※無盡真弓・安川宙葵
大槻静香・中村美千彦
- 9:35-9:48
A2-06 珪長質火山噴火のダイナミクスの再検討
Re-examining the dynamics of silicic eruptions
※ Jamie Farquharson・Fabian Wadsworth
Hugh Tuffen
- 9:48-10:01
A2-07 プリニー式噴火から火砕流噴火への推移メカニズム 十和田火山 915 年噴火の例 ※◎平田陸斗・奥村 聡・宮本 毅
- 10:01-10:14
A2-08 水蒸気噴火噴出物の変質組織の起源と意義 ※南 裕介・下司信夫
- 10:14-10:27
A2-09 北海道東部, 屈斜路軽石流堆積物 II/III (Kp II / III) と広域テフラ阿蘇 4 (Aso-4) の古地磁気方位：カルデラ形成噴火の継続時間見積もりと同時発生の検証 ※◎柴田翔平・長谷川 健
谷元瞭太・望月伸竜・岡田 誠
- 10:27-10:40
A2-10 爆発的噴火に関連した地震に誘発された山体崩壊 東北日本、秋田駒ヶ岳火山の更新世末期のカルデラ形成噴火と関連した山体崩壊 ※中川光弘・田次将太
松本亜希子・和知 剛
- 10:40-10:53
A2-11 溶岩流の「噴出量-到達距離」関係式 ※丸石崇史・小園誠史・藤田英輔
- 8:43-8:56
B2-02 十勝岳における定量的な火山活動評価指標の検討 ※長山泰淳
- 8:56-9:09
B2-03 吾妻山の最近約 5 年間における噴気活動及び地熱域の変遷 ※大石雅之・山村卓也・秋元良太郎
作野 魁・山岸 遼・野崎翔太郎
阿部優大・大森茂生・越谷英樹
- 9:09-9:22
B2-04 火山機動観測 IoT 標準ツールを利用した火山灰自動収集装置の改良 火山機動観測実証研究事業における研究環境整備 (その 1) ※森田裕一・嶋野岳人・瀧下恒星
- 9:22-9:35
B2-05 火山噴火時における UAV による自動巡回・画像取得手法の検討 ※佐々木 寿・江川 香
杉下七海・森 貴章・小森惇也
加藤 (成毛) 志乃・野中秀樹・千葉達朗
- 9:35-9:48
B2-06 JVDN システムを活用した阿蘇火山中岳 2021 年 10 月 20 日噴火後の降灰調査 ※宮縁育夫・長井雅史・中田節也
小澤 拓・古川竜太・石塚 治
南 裕介・Chris Conway・伊藤順一
- 9:48-10:01
B2-07 蔵王火山火口湖・御釜の現在の活動状況について ※後藤章夫・知北和久・山崎新太郎
岡田 純・松中哲也・土屋芳範
平野伸夫・大八木英夫・山口高志
- 10:01-10:14
B2-08 阿蘇中岳北麓における湧水の電気伝導度の時間変動 ※鍵山恒臣
- 10:14-10:27
B2-09 映像 IoT 技術による桜島モニタリング技術開発 ※菊田和孝・村田健史・長妻 努・西村太志
- 10:27-10:40
B2-10 伊豆大島火山における合同精密重力観測 ※鬼澤真也・西山竜一・今西祐一
大久保修平・安藤 忍
- 10:40-10:53
B2-11 「火山活動の状態」という捉え方での、データ統合、推移予測、レジリエンス ※上田英樹・松澤孝紀・三輪学央・長井雅史

臨時総会 (A 会場) 14:00~15:00

10月19日(木) 午後

A 会場
受賞記念講演
座長：市原美恵

15:00-15:30

S-01 学際研究にもとづく火山の理解・知識普及・防災
※小山真人

15:30-16:00

S-02 火山ガス安定同位体組成観測手法の革新
※角皆 潤

16:00-16:30

S-03 地震波干渉法に基づく国内50火山のリアルタイムモニタリングシステムの開発と運用
※廣瀬 郁

16:30-17:00

S-04 火山岩中の結晶時計 Crystal clocks in volcanic rocks
※ Chris Conway

10月20日(金) 午前

A 会場
火山の地質学
座長：及川輝樹・石塚 治

8:30-8:43

A3-01 周辺海域を含めた伊豆大島側火山形成場の特徴と活動時期
※石塚 治・井上卓彦・有元 純
川邊禎久・及川輝樹・前野 深

8:43-8:56

A3-02 浅間黒斑火山および仙人火山の大規模かつ複雑な山体崩壊
※安井真也・大林博美・荻野涼資
日川紗香・金丸龍夫・佐藤幸信
奥井真人・高橋正樹

8:56-9:09

A3-03 浅間火山群の新しい見方 仙人・前掛火山系
※高橋正樹・安井真也

9:09-9:22

A3-04 2018年北海道胆振東部地震で発生したテフラ層すべりにおける降下火砕堆積物の層序・層厚および粒度・力学特性
※後藤 聡・大川原優希・小幡隼士

9:22-9:35

A3-05 噴出物の古地磁気からみた神鍋山の成り立ち
※一井瑛介・辻 智大・山本裕二

9:35-9:48

A3-06 五島列島、福江島の鬼岳火山の形成過程 特に鏡瀬溶岩と大窪スコリア丘について
黒木 瞭・※奥野 充

B 会場
火山の地震
座長：三反畑修・山田大志

8:30-8:43

B3-01 口永良部島火山古岳山体におけるモノクロマティック微動
※山田大志・井口正人・中道治久

8:43-8:56

B3-02 霧島硫黄山のガス噴出現象の地震波解析
※◎畑 誠斗・西村太志・松島 健
村松 弾・長妻 努・村田健史
小園誠史・田辺暖終

8:56-9:09

B3-03 2011年新燃岳噴火時の調和型微動(2)
※武尾 実

9:09-9:22

B3-04 個別要素法による3次元岩脈貫入シミュレーション 岩脈周辺での地震活動
※藤田英輔

9:22-9:35

B3-05 海底地震波形成データを用いた海底火山活動の解析
※◎青山哲也・竹内 希

9:35-9:48

B3-06 DONET 高密度津波観測に基づく北硫黄島カルデラ起因の微小津波シグナルの検出
※三反畑 修・齊藤竜彦

9:48-10:01

A3-07 トカラ列島中之島の完新世噴火史—テフラの年代
を中心に—

※及川輝樹・谷内 元・古川竜太・石塚 治

10:01-10:14

A3-08 霧島火山, マルチ火山活動の発現時期の解明に向
けた史料解析 (1)

※田島靖久・小林哲夫

10:14-10:27

A3-09 鹿児島市の K-40 大気降水量と桜島の噴火活動の
関係

※木川田喜一・原 若菜・廣瀬勝己

10:27-10:50 休憩

火山の岩石学

座長：宮城磯治・石橋秀巳

10:50-11:03

A3-10 活火山内部の熱水変質帯の物質科学的検討

※高橋 良

11:03-11:16

A3-11 雌阿寒岳, ポンマチネシリ 1000 年前噴火のマグ
マ供給系

小嶋久美子・※佐藤鋭一

和田恵治・松本亜希子・中川光弘

11:16-11:29

A3-12 富士山宝永噴火 Ho-II スコリアに含まれる流紋岩
質ガラス

※石橋秀巳・大塚芽久

外西奈津美・安田 敦

11:29-11:42

A3-13 富士山噴出物の化学組成の多変量統計解析

※○勝木悠介・坂田周平・西澤達治

高橋正樹・中井俊一・中村仁美

原口 悟・岩森 光

11:42-11:55

A3-14 岡山県備前市伊坂峠に分布する白亜紀火砕岩類の
岩相記載

※毛利元紀・竹森浩人・山本瑞樹・北野輝光

11:55-12:08

A3-15 北薩-始良-鹿児島湾北部地域にみられる非島弧的
マグマ活動の東進現象

安井光大・相澤正隆・井村 匠・※斎藤拓哉

12:08-12:21

A3-16 有珠山 1663 年噴火における珪長質マグマの起源

※○高橋佳佑・栗谷 豪・松本亜希子・中川光弘

12:21-12:34

A3-17 カルデラ火山における火道内マグマ対流脱ガスの
重要性

※宮城磯治

9:48-10:01

B3-07 DAS システムにより観測された 2022 年 11 月 29
日桜島野尻川沿い土石流に伴う地盤振動波形の解
析

※田口貴美子・西村太志・中原 恒

廣瀬 郁・中道治久

江本賢太郎・濱中 悟

10:01-10:14

B3-08 新燃岳における地震波速度変化の降雨応答特性の
推定

※高野智也・西田 究

10:14-10:27

B3-09 伊豆大島総合観測井における物理検層の再解析

※小村健太郎

10:27-10:50 休憩

地殻変動

座長：姫松裕志・大園真子

10:50-11:03

B3-10 2016 年熊本地震後の阿蘇カルデラの沈降は火山起
源か？

※宗包浩志・小林知勝

11:03-11:16

B3-11 阿蘇カルデラ周辺の地殻変動源とマグマ供給系

大久保美鈴・※大倉敬宏

11:16-11:29

B3-12 北海道東部屈斜路カルデラで発生する非定常地殻
変動

※大園真子・高橋浩晃・松田瑞希

山口照寛・岡田和見

11:29-11:42

B3-13 アトサヌプリ火山群の収縮変位の定量的分析

※藤原 智・三木原香乃・市村美沙

石本正芳・小林知勝

11:42-11:55

B3-14 始良カルデラ下の低 S 波速度領域の形状を模した
圧力源による地盤変動モデルの検討

※味喜大介・筒井智樹・井口正人

11:55-12:08

B3-15 2023 年における箱根火山周辺の非定常地殻変動

※道家涼介・本多 亮・萬年一剛

12:08-12:21

B3-16 可搬型レーダー干渉計 (SCOPE) により検出され
た吾妻山大穴火口周辺における地殻変動

※姫松裕志・小澤 拓・宮城洋介

12:21-12:34

B3-17 伊豆大島における傾斜計の温度変化の特徴につい
て

※宇平幸一・山里 平・高橋幸祐

高木朗充・藤田英輔

A 会場

噴出物の堆積と運搬

座長：片岡香子・谷 健一郎

- 14:00-14:13
A3-18 緊急調査航海によって明らかになった福德岡ノ場
2021年噴火に伴う海底堆積物の特徴
※谷 健一郎・佐野貴司・石塚 治・及川輝樹
片山 肇・鈴木克明・南 宏樹・長井雅史
嶋野岳人・中村美千彦・浮田泰成
前野 深・水野 樹・Iona McIntosh
- 14:13-14:26
A3-19 パティック溶岩 レータイト溶岩の特殊な表面構造
※大場 司・Wildan Nur Hamzah
Mradipta Alifcanta Lintang Moktikanana
Mirai Suchayla Adiva・Yogi Adi Prasetya
Mirzam Abdrucchman
- 14:26-14:39
A3-20 北海道有珠山東丸山潜在ドームの形成年代
※後藤芳彦・石川天晟・佐藤康大・東宮昭彦
- 14:39-14:52
A3-21 松島・浦戸地域の地質 (Otb とは何か?)
※田村芳彦・佐藤智紀・宮崎 隆・佐藤寿正
- 14:52-15:05
A3-22 熱消磁実験による九州中北部 Aso-4 火砕流堆積物の
定置温度
※辻 智大・大澤研斗・山本裕二・潮田雅司
- 15:05-15:18
A3-23 十和田火山におけるマグマ活動史：その6 噴火
エピソード E 噴出物の特徴と噴火様式
※広井良美・佐藤勇輝・宮本 毅
- 15:18-15:31
A3-24 猪苗代湖の湖底堆積物コア (INW2021) 中の湖底
密度流堆積物の編年に基づく安達太良火山・磐梯
火山の火山活動履歴
※片岡香子・卜部厚志・長橋良隆
- 15:31-15:44
A3-25 二次泥流発生に影響する火山灰の化学成分分析の
予備調査 ※清水武志・今森直紀
- 15:44-15:57
A3-26 移流拡散モデルによる再飛散火山灰予測
※新堀敏基・橋本明弘・石井憲介・林 洋介

B 会場

火山防災

座長：金 幸隆・宮城洋介

- 14:00-14:13
B3-18 火山防災のための火山ハザード情報システムの開
発 ※宝田晋治・Joel Bandibas・河野裕希
米谷珠萌・金田泰明・長田美里・池上郁彦
- 14:13-14:26
B3-19 那須岳における火砕流リスクマップ作成の試み
※河野裕希・宝田晋治
- 14:26-14:39
B3-20 御嶽山における登山者動態データ取得実験および
状況共有実験
※宮城洋介・吉森和城・工藤隼人
上田啓瑚・臼田裕一郎・金田成元
- 14:39-14:52
B3-21 2014年噴火以降の御嶽山地域の火山防災啓発活動
の相対的位置づけ - 他の火山地域との比較から -
※堀井雅恵・山岡耕春・金 幸隆
竹脇 聡・國友孝洋
- 14:52-15:05
B3-22 御嶽山における初の登山者参加型避難訓練
※金 幸隆・山岡耕春・竹脇 聡
野田智彦・田ノ上和志
- 15:05-15:18
B3-23 耐噴石シェルター補強のための人工軽石の衝撃変
形特性評価
※山田浩之・立山耕平・小笠原永久
藤木裕行・佐々木 寿
- 15:18-15:31
B3-24 富士山噴火時における車両避難シミュレーション
※池貝未来・佐多宏太・北濱謙一
- 15:31-15:44
B3-25 明治中期に噴火した福島県3火山の災害の継承
※佐藤 公
- 15:44-15:57
B3-26 効果的な火山防災マップの在り方に関する研究
火山防災でのクロスロードの活用
※久保智弘・吉本充宏・矢守克也
岡田夏美・古屋海砂・酒井俊治

ポスターセッション

コアタイム：10月18日（水）16:40-18:10（奇数番号）

10月19日（木）11:00-12:30（偶数番号）

P01	桜島の完新世噴出物の Sr-Nd-Pb 同位体比分析に基づくマグマ系の進化についての検討 ※栗谷 豪・中川光弘・松本亜希子	P15	水準測量繰返し観測によって測定された1990年代以降の始良カルデラ膨張期における桜島火山周辺の地盤上下変動 ※山本圭吾・松島 健・大倉敬宏・吉川 慎 井上寛之・園田忠臣・内田和也
P02	桜島火山薩摩テフラの層序 ※◎木尾竜也・西原 歩・成尾英仁 下司信夫・宮縁育夫	P16	桜島大正噴火写真のカラー化とそれを用いた啓発活動 ※井村隆介・鹿児島県立博物館
P03	桜島島外における桜島火山由来テフラの層相および分布 ※西原 歩・下司信夫・成尾英仁 木尾竜也・岩橋くるみ	P17	大隅半島南部における幸屋火砕流堆積物の定置温度条件の検討 ※◎飯澤彩羽・辻 智大・山本裕二
P04	気象庁種子島レーダーによる桜島噴火噴煙の検知率 ※福井敬一・佐藤英一	P18	始良カルデラで巨大噴火を起こした高シリカ流紋岩の相平衡実験 ※中谷貴之・下司信夫
P05	雑微動の相互相関関数のダブルビームフォーミングを用いた地震波速度変化の推定—防災科研桜島アレイへの適用— ※廣瀬 郁・藤田英輔・上田英樹・小園誠史	P19	始良カルデラ周辺における温泉水の起源と地質構造、火山活動との関係 ※◎中岡風々海・北村有迅・川端訓代
P06	桜島1914年プリニー式噴火のマグマダイナミクス—噴煙・火道流モデルによる制約— ※◎土屋彰登・小園誠史・奥村 聡	P20	始良カルデラ東部における温泉水ラドン濃度の変動 ※北村有迅・川端訓代・中岡 風々海 角森史昭・田町勇氣
P07	桜島1914年噴火のプリニー式噴火期のマグマ上昇過程 ※下司信夫	P21	ひまわり8号画像による2018年新燃岳噴火の高頻度熱観測 ※金子隆之・安田 敦 市原美恵・堀内拓朗
P08	桜島・昭和火口の2023年2月の再噴火に先行した火山性微動の周波数解析 ※◎田城陽菜・八木原 寛	P22	新燃岳2011年噴火噴出物の残存状況調査 ※清杉孝司
P09	DAS観測による桜島の爆発地震の解析 ※西村太志・田口貴美子・中原 恒・畑 誠斗 中道治久・高橋龍平・江本賢太郎・濱中 悟 小園誠史・長妻 努・村田健史・菊田和孝	P23	霧島火山群えびの高原硫黄山溶岩の噴出過程 ※前野 深・八坂泰河・外西奈津美・安田 敦
P10	桜島の爆発地震の超長周期帯域におけるソースメカニズム ※高橋龍平・中道治久	P24	火山性熱水の化学分析による火山活動評価—霧島山えびの高原（硫黄山）の例— ※谷口無我・大場 武・福岡管区気象台 鹿児島地方気象台・宮崎地方気象台
P11	桜島火山における爆発地震波形の数値計算 ※◎長谷川誉久・西村太志	P25	霧島硫黄山噴火後の熱水化学組成の経時変動（IV） ※石橋純一郎・宮本知治 松島 健・山中寿朗・池端 慶 及川 純・田島靖久
P12	火映解析から示唆される桜島昭和火口のブルカノ式噴火プロセス ※村松 弾・相澤広記・横尾亮彦 為栗 健・井口正人	P26	えびの高原硫黄山の熱水・湧水の化学組成変化から見た地下熱水環境の現況 ※◎柴野夏海・木川田喜一
P13	桜島ブルカノ式噴火にともなう地盤収縮時間関数の推定 ※石井杏佳・井口正人	P27	霧島山広域 GNSS 観測網による膨張源の体積変化 ※中尾 茂・森田裕一・八木原 寛 及川 純・上田英樹・高橋浩晃 太田雄策・松島 健・井口正人
P14	繰返し海底地震観測による桜島北方海域下の微小VT地震活動 ※八木原 寛・仲谷幸浩・平野舟一郎 為栗 健・中道治久・井口正人	P28	九州南部・米丸火山におけるマグマ生成条件 ※◎森北那由多・栗谷 豪

- P29 鬼界カルデラのマグマ源とその進化
Maria Luisa Tejada・※羽生 毅・宮崎 隆
浜田盛久・佐藤智紀・島 伸和・金子克哉
中岡礼奈・清杉孝司・鈴木桂子・石塚 治
- P30 陸上堆積物及び海底堆積物の分析に基づく幸屋火
砕流の流動堆積機構の解明
※淺田 峻・清杉孝司
- P31 海陸自然地震観測による鬼界カルデラの地震波速
度構造
※山本揚二郎・伊藤亜妃
石原 靖・大林政行・田中 聡
中道治久・八木原 寛・仲谷幸浩
杉岡裕子・大塚宏徳・松野哲男・島 伸和
- P32 利尻起源ワンコの沢軽石の物質科学的研究
※◎河原花衣・松本未来・栗谷 豪
- P33 アトサヌプリ火山群周辺の水準測量及び上下変動
場の予想的推定
※◎松田瑞希・大園真子・青山 裕
田中 良・平戸悠登・岡田和見・高橋浩晃
- P34 可搬型レーダー干渉計 (SCOPE) により検出され
た十勝岳 62-II 火口周辺における地殻変動
※姫松裕志・小澤 拓・宮城洋介・奥山 哲
- P35 ドローンによる十勝岳の空中磁気測量
※◎保苺健陽・田中 良
- P36 倶多楽火山周辺における 2017 年以降の地殻変動
※安藤大晃・木村一洋
- P37 有珠火山 1977 年噴火と 2000 年噴火のマグマ上昇
過程の違い
※東宮昭彦
- P38 北海道有珠山金毘羅山の地質：シュードピローの
発見
※後藤芳彦・東宮昭彦
- P39 北海道南西部、濁川火山におけるカルデラ形成噴
火の推移と小型カルデラの構造発達過程
※金田泰明・長谷川 健
- P40 北海道・渡島大島火山噴出物の全岩化学組成
※谷内 元・早川智也・中川光弘
- P41 恵山山頂溶岩ドーム爆裂火口内部の火砕丘
※◎濱田明知・三浦大助
- P42 十和田火山におけるマグマ活動史：その 7 ポスト
カルデラ期の Sr 同位体比
※佐藤勇輝・広井良美・宮本 毅
- P43 西岩手カルデラ中央火口丘形成期のマグマの分化
作用
※◎池田柁道・大場 司
- P44 新聞報道に基づく秋田焼山における明治 20 (1887)
年噴火の再評価
※伊藤順一・南 裕介
- P45 蔵王火山の最新期初期の山頂付近に分布する噴出
物と山麓に分布するテフラ層の層序及び岩石学的
特徴の比較
※◎若林悠羽・伴 雅雄
井村 匠・武部未来
- P46 蔵王火山、活動期 VI の溶岩類と火砕岩類及び活
動期 V と VI の噴出物の岩石学的特徴の比較
※◎大木可夏子・伴 雅雄
- P47 蔵王山における深部低周波地震のダブルカップ
プル・非ダブルカップル成分の継続時間
※池谷拓馬・山本 希
- P48 吾妻山火山表層における火山弾・岩塊の分布と噴
出条件の推定
※常松佳恵・伴 雅雄・井村 匠
三浦太郎・阿部優大・Nils Steinau
- P49 吾妻一浄土平火山鎌倉噴火以降の爆発的噴火活動
履歴
※井村 匠・伴 雅雄・大津好秋
井上朋紀・常松佳恵・長谷川 健・大場 司
- P50 磐梯山の 2022 年 12 月末の地震急増 その活動経
過と膨張性地殻変動の存在
※岡田 純
仙台管区気象台 地域火山監視警報センター
- P51 GNSS 連続観測で捉えられた磐梯山の地殻変動
※市村美沙・吉田賢司・芝 公成
矢来博司・宗包浩志
- P52 那須火山群、二岐山火山の初生マグマとマントル
溶融条件の予想的検討
※◎渡部将太・長谷川 健・Festus T. Aka
松本亜希子・中川光弘
- P53 防災科学技術研究所の震源データを用いた那須火
山における地震活動 ※棚田俊收・上田英樹
- P54 玄武岩式プリニー式噴火のマグマプロセス：男体
小川テフラでの事例研究
※◎三田優奈・石崎素男
- P55 東北日本孤における地殻流体分布と地殻変動
※◎増田章吾・小川康雄・市来雅啓
- P56 草津白根山活発期における浅部熱水系の変化 湯
釜火口湖に対する数値解析からの示唆
※◎藤原季路・寺田暁彦
- P57 草津万代鉈周辺における比抵抗構造の再調査
※吉田友宜晴・神田 径・川田大誠・草津町
- P58 浅間山の 2023 年 3 月からの火山活動について
※柳澤宏彰・高橋幸祐・山里 平・菅井 明
飯島 聖・岸本博志・武尾 実
大湊隆雄・行竹洋平・上田英樹
- P59 プリニー式噴火の推移を決める要因—浅間火山 16
ka 噴火の例— ※◎関子田和典・前野 深
- P60 地震波干渉法解析による浅間山の 3 次元 V_{sv}, V_{sh}
構造 ※長岡 優・西田 究
青木陽介・武尾 実
- P61 箱根火山形成初期の火山体の放射年代測定
※長井雅史・高橋正樹
- P62 箱根火山で観測された 2023 年の火山活動活発化
※本多 亮・道家涼介・栗原 亮・外山浩太郎
安部祐希・萬年一剛・長岡 優・板寺一洋
- P63 箱根山における火山ガス組成の時間変化
※大場 武・谷口無我・沼波 望・豊島誠也

- P64 箱根火山の浅部および深部で発生する地震の活動
※栗原 亮
- P65 大涌谷周辺における昆虫調査と箱根ジオミュージアム企画展
※山口珠美・岸 一弘
- P66 富士山のテフラ対比に役立つ鍵層について
※安田 敦・亀谷伸子・嶋野岳人
田島靖久・吉本充宏・杉山浩平
西澤文勝・金子隆之・藤井敏嗣
- P67 富士火山北麓および東麓のテフラ層層の再検討
※亀谷伸子・吉本充宏・山本真也・安田 敦
- P68 富士火山の斜長岩-斑れい岩複合捕獲岩に見られるメルト脈
※◎西ヶ谷琴音・石橋秀巳
針金由美子・外西奈津美・安田 敦
- P69 富士山における火山防災教育教材の開発-その2-
※吉本充宏・久保智弘・三ッ井聡美・亀谷伸子
本多 亮・林 龍樹・藤巻桂吾
- P70 伊豆大室山の斜長石中の流紋岩質メルト包有物の微量元素組成
※◎野澤 僚真・石橋秀巳
上木賢太・常 青・羽生 毅
外西奈津美・安田 敦
- P71 伊豆大島火山 N 期, 新島向山噴火年代の再検討
※川邊禎久
- P72 航空レーザー測深による伊豆大島浅海の火山地形
※及川輝樹・石塚 治・川邊禎久・古川竜太
加藤 (成毛) 志乃・佐々木 寿
小澤弘典・栗本享有・千葉達朗
- P73 数値シミュレーションおよび野外観測による伊豆大島火山熱水系の考察
※松島喜雄
- P74 2009 年伊豆大島構造探査の走時データを用いた伊豆大島およびその周辺海域のトモグラフィー解析
※田中 聡
- P75 伊豆大島における地震波速度変化と地殻変動の関係
※入山 宙・長岡 優・吉田康宏
鬼澤真也・川口亮平・行竹洋平
- P76 GNSS 観測データに基づく伊豆大島の地殻変動源解析
※川口亮平・鬼澤真也
成田冴理・安藤 忍
- P77 伊豆大島三原山でのドローン空中磁気測量
※小山崇夫・金子隆之・大湊隆雄
渡邊篤志・八木健夫
- P78 1986 年噴火時を含む東大地震研伊豆大島観測所地震データの復刻・配付
※山岡耕春・大湊隆雄
- P79 噴出物から探る三宅島火山すおう穴-風早噴火初期の噴火過程
※◎橋本 咲・安田 敦
石橋秀巳・下司信夫
- P80 三宅島 2019 年 MT 観測データの解析
※松永康生・小山崇夫・上嶋 誠
Gresse Marceau・小西弥市・荒木陽輔
神田 径・YE Tao・浅利晴紀・飯野英樹
高橋幸祐・星原一航・森田裕一
- P81 伊豆諸島新島向山火山噴出物の含水量測定
※◎桐生真澄・中岡礼奈
- P82 硫黄島における長期地形変化と噴火の関係
※関 晋・及川輝樹・手操佳子
- P83 小笠原硫黄島 2022 年噴火におけるマグマの温度圧力条件
※三輪学央・長井雅史・上田英樹
小園誠史・中田節也・安田 敦
- P84 福徳岡ノ場 2021 年噴火でのマグマ混交と脱ガス過程: KS-22-5 調査航海で採取された火砕性黒曜石からの制約
※◎浮田泰成・新谷直己
無盡真弓・藤田和果奈・荒尾真成・関谷夏子
中村美千彦・Iona McIntosh・谷 健一郎
- P85 妙高火山のマグマ溜まりへの K_2O に富むマグマの注入
※浜田盛久・Estelle Rose-Koga
Kenneth Koga・清水健二・牛久保孝行
原田英男・Andreas Auer・山口佳昭
- P86 2023 年 8 月に実施された立山火山地獄谷における水準測量
※堀田耕平・久志勘太・吉田有希
- P87 新白山火山の最新噴火頻発期の噴出物の産状と年代
※藤原 寛・石崎泰男
- P88 御嶽火山の $^{40}Ar/^{39}Ar$ および K-Ar 年代測定
※山崎誠子・及川輝樹・Daniel Miggins
Anthony Koppers
- P89 御嶽山水蒸気噴火の準備過程: 予備的な数値計算の試行
※前田裕太
- P90 神鍋火山の成因について: スコリア中かんらん石のメルト包有物分析
※柵山徹也・金山壮一郎
清水健二・牛久保孝行・羽生 毅・常 青
- P91 島根県木部谷間欠泉での傾斜及び地電位変動
※◎田辺暖終・相澤広記・松島 健
- P92 九重火山における 3 つの火砕流堆積物に関する岩石学的研究
※藤本和希・金子克哉・菊池瞭平
- P93 九重火山の南麓, 隼原地域の飯田火砕流堆積物の分布と下坂田火砕流堆積物の存在
※◎岡田将英・辻 智大・潮田雅司
- P94 九重火山のヘリウム同位体比の時空間変化
※安田裕紀・角野浩史・小長谷智哉
外山浩太郎・沼田翔伍・谷口無我
相澤広記・石橋純一郎
- P95 GNSS 連続観測から示唆される九重火山の山体膨張
※成田翔平・大倉敬宏
- P96 長崎県琴ノ尾岳北麓にみられる火口地形について
※西川 正
- P97 長崎火山岩類の成因についての記載岩石学的特徴と全岩化学組成に基づく考察
※◎尾崎隼汰・宮本知治
- P98 不均質なマグマだまりがもたらす火山噴火様式への影響の検討: 雲仙火山有史時代噴火の例
※岩橋くるみ・安田 敦

- P99 雲仙火山南麓の堆積物の層序と構造の見直し～古
期雲仙火山の山体復元に向けて～
※◎村田丈治・辻 智大
- P100 雲仙地獄における熱水変質作用の地球化学的研究
※◎坂本光瑠・宮本知治・石橋純一郎
松島 健・森 啓悟
- P101 火山灰に含まれる硫黄鉱物の存在量と同位体組成
の経時変化 - 阿蘇火山 2021 年 10 月噴火火山灰試
料の例 - ※◎平田 碧・大場 司・井村 匠
高橋亮平・Pearlyn Cabarubias Manalo
長井雅史・佐藤比奈子・池田柗道
- P102 阿蘇 4 火砕流分布図 - 大規模火砕流分布図シリー
ズ 3 ※星住英夫・宝田晋治・宮縁育夫
宮城磯治・山崎 雅・金田泰明・下司信夫
- P103 遠方・近傍 Aso-4T 火砕流堆積物の岩石学的特徴
の相違点 ※潮田雅司・中村千伶
長田朋大・辻 智大・大西耕造
石川慶彦・西坂直樹
- P104 阿蘇火山において 2019~2020 年に発生した連続噴
火における A 型地震と高周波微動
※◎小松隼人・大倉敬宏・為栗 健
- P105 阿蘇火山における 2017 年~ 2023 年の重力時空間
変化 ※◎若林 環・吉川 慎
風間卓仁・大倉敬宏
- P106 阿蘇火山における二酸化硫黄放出率の準連続観測
~その 2~ ※森 健彦・入山 宙
河波俊和・岩本征大
井上秀穂・西 正儀
- P107 角閃石の主成分元素を用いた西南日本弧第四紀マ
グマの物理化学的特徴の推定
※◎宗近俊祐・岡田郁夫・柴田知之
- P108 遠地の広帯域地震計で観測された 2023 年カムチャ
ツカ・シベルチ噴火 ※高橋浩晃
- P109 イエローストーン、ハックルベリーリッジ・タフ
中のジルコンの Hf 同位体比
※西村光史・昆 慶明・高木哲一
- P110 月面に存在する珪長質カルデラ内火山ドームの形
態学的研究 ※◎荒木亮太郎・佐伯和人
- P111 斑晶ガラス包有物の水・CO₂ 分析に最適な試料は
何か? ※宮城磯治
- P112 陰イオン交換樹脂を用いた火山性熱水の硫黄化学
種分別定量法の検証 ※陳 怡帆・木川田喜一
- P113 天然試料中の高濃度塩化物イオン新定量法の検討
※◎北村 凱・野上健治
- P114 火山ガス組成の連続観測システムの構築とその運
用 ※外山浩太郎・代田 寧
二宮良太・栗原 亮・板寺一洋
- P115 GEMS を用いた SO₂ 放出率観測の試行
※森田雅明
- P116 溶結凝灰岩の柱状節理横断面における多角形の形
態 ※◎手嶋隆一・宮縁育夫
- P117 粒子毎の動的画像解析によるテフラ標準試料の形
状の計測 ※瀧下恒星・三輪学央
長井雅史・中田節也・鈴木毅彦
- P118 火山活動評価に向けた火山灰粒子画像の自動分類
※松本恵子・下司信夫・宮川歩夢・板木拓也
- P119 地球化学データベースから探る全岩化学、揮発成
成分析手法の変遷、およびデータ比較に当たって
の注意点 ※原口 悟
- P120 多孔質な火山岩の密度及び空隙率の水置換法によ
る測定 ※竹内晋吾・石毛康介・諏訪由起子
- P121 二酸化硫黄放出率トラバース測定中の噴煙高度推
定 ※森 俊哉
- P122 衛星観測と前方流跡線解析による二酸化硫黄放出
率推定 ※橋本明弘・高木朗充・新堀敏基
- P123 固気液三相流体中における気泡成長ダイナミク
ス: アナログ実験からのアプローチ
※◎小林昌樹・奥村 聡・並木敦子
- P124 結晶と気泡を含むマグマ中を伝播する P 波の数理
モデル ※鮎貝崇広・金川哲也
- P125 火山浅部の透水性評価のための土壌水銀観測
※◎高橋祐希・寺田暁彦・野村千咲
- P126 カルデラ形成噴火中の時間間隙 降下火砕物とそ
れを覆う火砕流堆積物の古地磁気方位に基づく考
察 ※長谷川 健・望月伸竜
- P127 降下テフラ層厚分布図データベースと降下テフラ
ハザード解析用ウェブ GUI アプリの開発
※上澤真平・竹内晋吾・土志田 潔
- P128 立入制限区域内の降灰厚情報の無人計測手法の開
発 ※国際航業株式会社 (発表者: 金井啓通)
永谷圭司・羽田靖史
- P129 傾斜データを用いた活火山の深部膨張の検知 降
雨及び雪の影響の除去効果の検証 ※木村一洋
- P130 体積膨張に伴う地殻変動における自己重力の影響
の見積もり ※◎金子直樹・田中愛幸
- P131 気象研究所における GSS 対流圏遅延補正プログ
ラムの開発 ※奥山 哲・安藤 忍
新堀敏基・鬼澤真也
- P132 噴火微動・爆発地震の震源振幅関数の特徴と噴火
過程の関係 ※森 亜津紗・熊谷博之
- P133 Volcanic Ballistic Projectiles accelerated by Supersonic
Jets: Insights from Numerical Modelling
※ Nils Steinau・常松佳恵
- P134 ChatGPT と火山学 空気抵抗を考慮した弾道計算
※千葉達朗
- P135 非定常なひずみ速度に対する複雑流体の応答と破
壊 ※桑野 修・市原美恵

- P136 空振のスペクトル形状と気温の関係に関する検討
 ※山河和也・横尾亮彦・村松 弾
 松島 健・市原美恵
- P137 海底噴火の水中噴煙柱を理解するためのアナロ
 ジー実験 ※◎尾崎智紀・多田隆起
 市原美恵・桑野 修・亀田正治
- P138 ペットボトルを用いたシングルフォースの測定
 ※◎多田隆起・市原美恵・村松 弾・桑野 修
- P139 水槽を用いた噴煙柱形成および火砕流発生実験教
 材の開発 ※富島千晴・佐藤鋭一
- P140 火山実験教材交流会の成果と課題
 ※横山 光・佐藤 公・林 信太郎・増渕佳子
- P141 火口カメラ映像資料の多面的活用に関する展望
 ※池辺伸一郎・鍵山恒臣・豊村克則
- P142 試作版周知啓発用コンテンツの改良と利活用につ
 いて ※久保智弘・吉本充宏
 本多 亮・石峯康浩・宮城洋介